



広 報

'91/ No. 401

あいかわ12月号

■編集

秋田県北秋田郡合川町役場総務課

☎0186(78)2100

F A X 0186(78)3277



北小学校での「初舞台」を終えて舞台裏で栄治さんにうかがいました。
「間合いが難しい。首のすげ変えなど、技はまだまだです」「地区の人たちから、どうしても見たいと言う声を聞いていたので、まずホツとしています。故人の千代勝も、安心していただけるのではないかと思います」これから、できるだけ公演していききたい……との栄治さんの言葉に、吉田千代海「ハルさんは、「まだまだシロウトです」と言いながらも、満足そうな表情をうかべていました。(関連記事十ページに)

猿倉人形を引き継ぎます

増沢・杉 潤 栄 治さん



季節のアップ



のき下の大根(八幡岱)

今月の紙面から

- 2～7面 日ソ友好交流協会訪ソ報告
- 8面 臨時町議会「住家一部被害者に見舞金」
- 9面 町体協文部大臣表彰
防災訓練
町民つな引き大会
公民館だより
- 10～11面 猿倉人形・初舞台
お知らせ・児童館つうしん
療育手帳所持者の交通割引
除雪に協力ください
- 13～15面 成田東蔵さんに大臣表彰

さらに深まる友好。きずな

合川町 日ソ友好交流協会の訪ソレポート

畠山町長を団長とする当町代表団の一行八名が、九月二十七日から十月四日までソ連極東地域を訪問しました。昨年十二月、ハバロフスク地方副知事イリーナさんを団長とする交流団の皆さんが当町を訪問。今回は、当町の八名が、全ソ連対外文化交流連絡連合会の招きを受けたものです。一行の交流の様子を、参加した三人の方にまとめていただき紹介します。

心ふれ合う感激の 交流を終えて

下 杉・桜 井 いずみさん

◇ハバロフスク空港◇

九月二十七日、新潟空港を飛び立ってから約一時間半。ソ連ハバロフスク空港に到着した。タラップを降りてソ連の地に一步を踏み入れる。「いよいよ始まるぞ」と思っ

懐かしさいっぱい
体をのら出して

税関で一人ひとりチェックされながら出るのだが、イリー

ナ副知事が体を乗り出してこちらを見ているものだから、私たちのチェックは甘かったように思えた。副知事の向こうには見たことのある顔が並んで手を振っていた。昨年合

川にきたメンパーが迎えに来てくれていた。言葉は通じなくても、懐かしさと、忙しいスケジュールの中空港まで出迎えてくれたイリーナ副知事に感謝感激だった。

私たちは、ハバロフスク側が用意してくれたバスに乗って「インツーリストホテル」に向かった。

◇地質学博物館◇

九月二十八日に視察したこ

の博物館は、ハバロフスク州の地質に関する資料を展示しているところで、この州で採掘される、金、銀、アメジスト、水晶その他いろいろな鉱石や化石、天然水や温泉の出る場所、火山の様子などを説明展示している。館長が自ら館内を案内してくれた。日本ではこういう手の建物はガラスのドアか大きな両開きのドアで外から見ても中に入っても明るい感じを受けるが、ソ連の建物は全般的に入り口のドアは片開きで中は薄暗く狭い感じがした。

◇ユージノ

サハリンスク空港◇

午後四時、私たちはアエロフロートのプロペラ機で、サハリンへ向かった。

予定より早く、一時間半程度でユージノサハリンスク(旧豊原)に到着した。タラップを下りたところに出迎える人が来ていて要人用の入り口から一般とは違う待合室に通された。待合室へは昨年も同行してくれたという観光協会のユーリアさんが迎えに来てくれていた。手続きを終えサ

訪ソ交流の参加メンバー 左から

関 ハツエさん	吉田 廣子さん
金田 京子さん	三浦 義一さん
桜井いずみさん	高橋仁一郎さん
畠山町長	伊東 雅晴さん

(ハバロフスクの日本人墓地で)



ハリン滞在中私たちの足となるTOYOTAのワゴンに乗ります夕食をとりに行った。

◇宿泊先

『オリンピア』◇

この『オリンピア』は、昔は官僚の別荘に使われていた建物だが、現在是一般にも開放している。しかし誰でも利用できるわけではなく特別な人しか利用できないということだ。そんなところに泊まらせてもらった。景色もよく静かで、また全館暖房でとても良いところだったのだが、お湯が出なかった。サハリンまで来て気合いを入れて水のシャワーを浴びなければならぬとは思わなかった。

残る戦争の歴史

◇豊原◇

九月二十九日、旭が丘スキー場を訪れる。このスキー場は、日本時代からあるもので、建物は少し変わったものの、ジャンプ台などもあった。天気にも恵まれ、本当にきれいに旧豊原の町をみわたせた。豊原

の学校を卒業したという三浦先生が「あそこに中学校があった」「あそこに神社があった」と懐かしそうに指差した。そして、私たちは神社跡に向かった。

ガイドのセルゲイさんが日本時代の写真を持ってきてくれて、今の景色と比べることができた。

日本が戦争に負けたときに神社はきれいに破壊されて今は一番下の階段しか残っていなかった。高い位置にあった神社に向かってまっすぐ何段もあった階段が、一瞬のうち



ユージノサハリンスク
(旧豊原)を望む

に破壊されたかと思うと戦争ということに対しての恐ろしさを感じた。

残っていた階段を上り少し歩いていくと、木の陰に隠れた階段が見えた。その当時の宝物殿だった。木材でなかったので焼け残ったらしい。その下には、湧水があつて飲めるというので、水に飢えていた私たちは歓声をあげながらナマミズを飲んだ。

次に、その並びにあつたという軍の病院跡に行った。そこは建物の土台がすっかり残っていた。そして、日本時代に植えられたという並木道を歩き、車に乗った。

この後サハリンの歴史・自然などを学ぶ郷土資料館、日本軍上陸記念塔などを訪問。

◇上小阿仁村出身の

田中ミサさん訪問◇

移動していた車の中で、ガイドのセルゲイさんがユージノサハリンスク在住の日本人のことを話した。

その人はいつこの間家族を訪ねて来日したばかりだという。よく話を聞くとその人は上小阿仁村出身の田中ミサさん

だった。「皆さんがその人に会いたいのなら、案内してあげる」ということだったので、連れていってもらうことにした。

急に決まったことなので何も準備していなかったもので、いったん宿泊先に帰り、日本から持ってきた食べ物その他をかき集めておみやげを作った。

田中さんの家に着いた。部屋の中は、日本のウイスキー「オールド」(中身は入っていないとのこと)やこけしなど、日本に関するものが何点か飾られていた。

田中さんは突然の来客に驚いてはいたが、とても喜んでくれて、日本に来たときに百歳になる母親と撮った写真や兄弟姉妹との思い出の写真を見せてくれた。私たちもとて

もうれしい気分になれた。来て良かった。

◇ハバロフスク

組合病院◇

この病院も院長は女性だった。職員五百名中医師は五十名でほとんどが女性で、現在二千五百人の人々の病気の予

防と治療を行っているのとことだった。歯科には、日本の機械も入れられ、「とても能率が上がります。でも値段が高い」と言っていた。

ループルが 使えない免税店

◇ショッピング◇

ソ連では共産党が解体したこと、レーニン広場の前にあるハバロフスク州共産党中央委員会事務所ではバザーが行われていた。私たちは対文連の人のほからいで、中に入ることができた。中は、絵や宝石や骨董品などが、数多く飾られていた。ループルなので日本では数十万円もするものが、ここでは数万円で買える。私たちは普通の観光では出来ないショッピングをすることができた。今思うともっと買ってくればよかったと思う(あまりお金はなかったけれど)。

次にベリョースカ(免税店)へ行った。ここはほとんどソ連の土産物がそろっている。どれに

しようか迷いながら買い物を楽しんだ。ここではルーブルは使えないし、貿易レートなのでずいぶん高く感じた。

◇レフさん宅での

夕食会◇

一般の家庭を訪問ということ、合川にもいらつしやつた、新聞記者のレフさんのお宅での夕食会に招待された。奥さんのガリーヤさんの手作りのお料理がテーブルいっぱいになり並べられていた。ミモザサラダから始まって、ケーキまで。お酒の強い？レフさんと歌の上手な陽気な奥さんと英語が好きな息子さんと、とにかく明るい家族だった。いくらお酒（もちろんウオッカ）を飲んでも、デザートとコーヒーか紅茶が出るまで夕食会は終わらない。

児童・婦人の

交流を希望

◇イリーナ副知事を

訪ねる◇

十一時にイリーナ副知事を

訪ねた。今回の訪問で私たちに對し、とても氣を使つて頂き、「幼児教育・学校教育・社会福祉に関する所を見せたいと思つていましたが、今までのスケジュールはいかがでしたか？」とおつしやつてくれた。

ハバロフスク市は、合川町との交流にとても積極的で、副知事からはハバロフスク市中央地区との交流についての提案があった。また、来年度からの交流についても積極的な発言があり、中でも子ども達の交流についてはバレーボール、バスケットボール等を通じて、相互交流したい旨の提案があり、町長さんも、その提案には賛成するし交流については我々も希望をしており、合川に帰って町民の考えを聞いて来年度早々にも具体的な相談をしたいと話された。副知事さんからは、交流についていろいろお話があり形式的な会談ではなく、心のある会談でうれしかった。

◇婦人協会との

懇談会◇

この協会は今年九月に発足

したばかりで、会長はイリーナ副知事、副会長に前副知事がいらつしやつた。他のメンバーには、病院の院長、保育園の園長などいろいろで、歴史のある日本の『婦人会』に對してすごく興味を持っていた。

イリーナ会長から、「今問題となっているのは協会の組織作りと運営方法で、そのノウハウを日本の婦人団体と交流を通じて勉強したい」という要望があった。

◇眼科見学◇

この眼科は近眼を手術して治すことで世界的に有名である。

中に入ると、日本だったらスリッパにはきかえるところであるがここでは靴カバーを履く。これがまるでシャワーキャップの様な形をしていて、思わず笑ってしまった。でも氣を使つて頂いて新品を出して頂いた。

病院内はとてもきれいで、設備も整っていた。病室もバス・トイレ付きで、何か大きな催し物があったりするとホテルがわりに使われることも

あるという。はつきり言って、私たちの宿泊先「インツォリストホテル」より、数段よかった。

◇ハバロフスク

中央区役所◇

イリーナ副知事より交流についての提案のあったハバロフスク中央区役所に行き、区長らと懇談した。

私たちが視察して歩いている学校その他の施設は、この中央区に含まれる。今後の交流は、この中央区としていくことになるだろうということだった。教育に関して、婦人会の活動について、少年の問題に関してや、行政に関することなどについていろいろな意見交換をした。

◇アムール川船下り◇

雨上がりでアムール川の水は濁っていた。私たちが船に乗ったときは日も差して来て、湖のような広さの川幅を持つアムール川からハバロフスクの街を見渡すことができた。しばらくすると、ハバロフスクの歌手たちが、私たちのために歌を歌ってくれた。特

にアコーディオンとギターの伴奏には感激した。思わず、私も歌ってしまった。

◇子ども劇場見学◇

ここは子ども達が演じるのではなく、子ども達に道徳を学んでもらうために大人が演じる劇場だという。ミュージカルの様な劇は、民族音楽のようなものもふんだんに入っていて、言葉がわからないから、内容もぜんぜんわからない私たちでも、何か温かい気持ちになった。

◇対外文化交流

連絡協議会◇

私たちがソ連滞在中の行動をすべて任せているところでフォミニさんやチェルノフさんの職場でもある。入ると、各国のお土産品やパンフレットが飾られていた。秋田県と共に合川町のものもあった。テーブルにつくと、後ろのほうには記者がたくさん並んでいた。一人ひとりの紹介をしたあと、オペラ歌手が歌を披露してくれた。こんにちば赤ちゃんなど日本の歌も歌つ

てくれた。とても澄んだ歌声にみんなが感激した。

◇参加して◇

どこへ行っても女性の力がすごいということ、それに、ハバロフスク側の熱心な対応には感激しっぱなしだった。不安だったが、思い切って

参加して本当によかった。機会があればまた行きたい、とも思っている。

今後、私たちは長くハバロフスクと交流していきたいと思うし、合川町とハバロフスクの子ども達の交流が、よい方向に進んでいくことをこれから期待したい。

父の墓をたずねて

川井・吉田 廣子さん

遺族みんなの 悲しみを胸に秘めて

父が戦時中召集されたのは、終戦一年前の昭和十九年十月、当時二十九歳、母は二十六歳、妹が三歳、私が六歳の時でした。それから、すでに四十七年が過ぎ去りましたが、この間、母は女手一人で農業のかたわら私たちを育ててくれました。そのつらさと悲しみは、口には出さないまでも、想像以上のものだったと思います。役場からお話をいただいて、

母が参加できればと考え勧めましたが、身体に自信がないと固辞するので、「父だけでなく、異国の地に眠る同胞の方々を慰霊し、遺族みんなの悲しみを和らげるため役立ちたい」と考え、誠に僭越でしたが参加することにしました。

ソ連赤十字関係者を 訪問して

視察団は、九月二十七日ハバロフスク到着の翌日から三日間、チタ州班とサハリ州班に分かれて行動し、私は町



イリーナ副知事の部屋でハバロフスクの中央区との児童交流などの話し合い

抑留死亡者の 墓地をたずねて

私たちは赤十字関係者の案内をいただき、チタ州カダラ地区付近の墓地三箇所を慰霊しましたが、これらの墓地はいずれも身元が判明しているため、埋葬者毎に墓石を建設し整備されていました。その埋葬者の名簿を日本側に手渡しているとのことでした。

私の父は当時の満州独立鉄道隊第十七部隊に所属し、終戦後チタ州カダラ地区第一分所に収容され、昭和二十一年三月十一日戦病死したことになると思います。せめてもの記念にと思い収容所跡地の石や土を遺品として持ち帰りました。

せっかくの訪ソでしたのに、父の埋葬地を確認出来なかったことは残念の一語に尽きます。日ソ両国の協力で未確認埋葬地の遺体発掘と身元調査がさらに促進され、遺族の元へ早期に帰れるよう努力されることを念願してやみません。また、二度と私たちのよう

長さん、伊東さん、関さんと四人でチタ班に参加しました。チタ班の主な行動は、抑留死亡者の墓地慰霊を始め、赤十字チタ支部スペトラーナ議長ら関係職員と会談し、同胞の収容所生活、墓地（埋葬地）の実態などについての意見交換でした。

スペトラーナ赤十字支部議長のお話では、「現在、判明しているチタ州内の日本人墓地は四十九箇所、約七千人が埋葬されている。うち整備さ

な戦争犠牲者を出さないためにも、平和な日ソ関係を永久に持続するよう一層の親善友好を深めなければならないと思いました。

私も、もちろん家族にとっても、夢にも見なかった現地で慰霊ができたことは、本当に感慨一潮であります。父

も草葉の陰で喜んでくれたと思います。

これもひとえに、合川町、町議会当局、町民のご理解と、視察団のみなさんのご協力のおかげでございます。紙上をお借りし母と共に、心から敬意と感謝を申し上げまして報告を終わります。

“国民的偉大さ”

子どもたちを訪ねて

上杉・関 ハツエさん

知ることは、仲良くなる一歩であると言われます。これまでの私のソビエト連邦に対する感じは、人も自然もなんとなく暗くて冷たい、という程度のものでした。知る機会が全くなかったというのが正しいかも知れません。この度の訪問を通して、少なくとも子ども達に対する考えが変わったことは、大きな収穫でした。

滞在五日目から、幼稚園も含めて、四つの学校を見学したことになりますが、その印象は“国民的偉大さ”に度肝を抜かれて帰って来た、と言えるようです。

先生はほとんどが女性です

ところが、どうも男性が見当りません。ここで知りましたが、校長先生はほとんど女性です。このあと訪ねる病院

でも、院長が女性、区役所の課長クラスの人もほとんどが女性とのこと。義務教育学校で、男性教員が一〇％位、病院の医師にいたっては六％という数は、日本では考えられないことでした。

真剣さが 伝わる授業風景

六歳から十六歳までの、千二百人を越えるという学校で、先生達の授業への取り組み方が最も気になるところでした。今考えると、国が大きく変わろうとしているこの非常時に、先生達が真実を語って、「国を生まれ変わらせよう」と励ませばこんな状態になるかも知れない、と思うような、そんな真剣さが伝わってくるのです。先生を信頼して、自分達の国を建てるという意気込みを感じさせる、そんな姿です。その上、友好を表現する動作も、いわゆる西側のそれに決して劣るものではなくありませんでした。いくつかの教室では、子ども達から歓迎のあいさつを受け、絵や作品を



N12学校……白いリボンとかわいいエプロン姿が印象的

美しさと品格を 備えた子どもたち

とでました。たった一つ覚えていたことは「スバスイーバ（有難う）」を発言しました。もらいました。第十二学校という所を訪ねて、英語の教室へ案内された時、何人かの生徒が手にダリヤの花などを握っているのが見えました。おやつと思っていたのですが、別れぎわに一斉に立って、友好のためにと私達に渡してくれました。総勢八人の私達は、胸いっぱい花を抱え、その可愛いらしさと、うれしさに、メロメロになってしまったこ

子ども達は概して、美しさと品格を備え、態度にも毅然としたものを感じさせられました。設備についても、予想

よりは良く、給食室などは、子ども同士の社交の場としても使えるような機能をもったすばらしいものでした。

ただ、ほとんどの教室で見た黒板については違いました。授業では、大事な役目をするものだけに、問題があると思いました。古くなったブロックといった白茶けた色に白いチョークは吸収されて目立たず、三枚の組合せ式は幅もありません。ふだん何気なく使っている日本の黒板の万能さ、反面、教育の普及率が世界でも最高といわれるソビエトで、他国との交流の少なさを見せられる思いがしました。

一層の交流に 大きな期待

また、同じような現状は、第三学校での日本語教室にもありました。日本の雰囲気を出すために教室の正面には、れている絵の中に「浮世絵」や下駄ばきで馬を引く人物の図があって、一同おっ／と言っていました。知らないことは怖いことです。

しかし、民間外交という点で、言葉について考えてみると、言葉を得るソビエト人のセンスには、日本人は「足元にも及ばない」と言えるようです。例えば、第十二学校では、ラジオ局からのインタビューがあり、先程教室で会った英語の先生が通訳でした。また、その夕方訪問した家庭では、彼女のクラスで会った生徒の一人である息子さんが、英語を駆使して、日本の事情を訪ねるのでした。その後日訪ねた日ソ友好協会でも、英語の先生という若い女性と、数人の若者が待っていてくれて、意を伝えるのに十分な英語を身につけていました。彼らの場合は、「日本から英語の教科書を送ってもらいたい」とか、「日本の青年と写真を通して交流したい」という一心であったわけですが、それにしても、まだ英語指導を取り入れて数年という国で、可能なことでしょうか。つい、日本人の場合と比較していました。

センスの点では、「芸術性」も、見せつけられた思いがします。国民性に加えて、「子どものための劇場」というようなものまで備える政策的なものもあったわけですが、子ども達の課外活動である民族舞踊を紹介されたときは、言葉もありませんでした。日本であれば、プロの出し物以外の何物でもありませんでした。「静かな川は水が深い」。ほんの八日間という短い交流で、一面に接したにすぎませんが、静かなソビエトの人々に対しては、こんな言葉が思わす出るのでした。底知れない力を持った偉大な国民、そんな気がしました。

もし、「金を与えてやる」的な思いがあった気持ちも少しでもあるとすれば、日本人こそ大した国民ではないのではないか、そう思うのです。そして、ほんとうに困っている今、何らかの面で力になれるばと考えるようになりました。



年末の交通安全県民総ぐるみ運動

“ゆとり持て、気持ち スピード 車間距離、

12月 12月11日(水)から12月20日(金)までの10日間

飲酒運転追放県民運動強調月間

“酒ノその一ぱいが 命とる、

(12月1日(日)から12月31日(火)まで)

重 点

- スピードの出し過ぎ等無謀運転の防止と、スリップ事故の防止
- 飲酒運転の徹底追放
- 歩行者特に高齢者の交通事故防止
- 正しい方法によるシートベルト着用の徹底

12月の土曜閉庁

第2土曜日 11月14日

第4土曜日 12月28日

役場は休みになります

※診療所・体育館・公民館・保育園は閉庁しません。保育園は28日から年末の休みです。よろしく願います。

台風19号災害

住家一部被害者 に見舞金を給付

九月二十八日に当町を襲った台風19号は、未だに町内随所に大きな傷跡を残しています。被害に遭われた皆様に改めて、お見舞いを申し上げます。

町では住家の全壊・半壊者に見舞金をお届けしましたが、住家の一部に被害を受けられた方にも、次のとおり見舞金を給付することになりました。

▽自己所得住家に二十万円以上の被害を受けた方
見舞金 二万円

▽自己所得住家に十万円以上の被害を受けた方
見舞金 一万円

見舞金は所定の申請書の提出に基いて支給します。申請書用紙は役場総務課と各部落代表者に有りますので、添付書類とともに、十二月十日までに、役場総務課に提出ください。

申請が無い方には支給されませんので、よろしくお願います。

臨時町議会

町監査委員に 伊東紀喜議員

十一月一日、第三回町議会臨時会が開かれました。臨時会で可決された議案は次のとおりです。

▽補正予算

台風19号の応急対策、災害復旧費など、一般会計に一億

四千八百八十九万九千円が追加されました。

▽町監査委員の選任

町議会議員の中から選ばれた町監査委員に伊東紀喜氏（55歳）を選任することに同意されました。前監査委員、福岡昭二氏の死去に伴い、その後任として選任されたものです。

消防団副団長に 小田慶一さん

町消防団では十月二十二日

まいごを届けました

好評—ふるさと便—ゆうパック
発送—

十月二十一日から「合川ふるさと会」の皆さんに、今年の第一回ふるさと便をお届けしました。あきたこまち、あわ大福もち、スイートコーン、北の梅（梅漬け）、長いも、秋田杉工芸品などをセット。町出身者や「合川ファン」の方から喜びのおたよりをいただいています。

首都圏（葛飾区）にむけて、ふるさとゆうパックの第二便

は、十一月十一日から発送されました。こちらは、あきたこまち、あわもち、北の梅、りんごをセット。特に台風災害後の発送とあって、生産者の皆さんへの励ましが多く寄せられています。

ふるさと便は、十二月にきりたんぽを主体に第二便を予定。ふるさとゆうパックは年四回の発送で、三便、四便の準備がすすめられています。

付けて副団長に小田慶一さん（木戸石）を任命しました。これは前副団長・関喜英二さん（上杉）が急逝された後任として、発令されたものです。

ご利用ください 台風相談窓口

住宅被害については電話相談も受け付けています。

役場福祉課（☎78-2113）

〔会員からのおたよ〕

先日は「合川ふるさと会」の心のこもった贈り物ありがとうございました。台風の被害を受けたあわだしい中の発送、本当に頭が下がる思いです。（中略）ふるさとの味が一つ一つにしみわたって、なつかしく思いおこしております。台風の被害の大きさを知り、一日も早い復旧をされますよう、陰ながら祈っております。

東京都府中市

山谷 矩子様より

町出身者のご参加を

首都圏阿仁川会の集い

首都圏阿仁川会の総会が、次のとおり開かれます。町出身の方々が、親睦の交流を深めお互いに励まし合おうとの集いです。

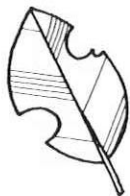
皆さんの参加をぜひお願いします。また、各家庭からも、首都圏の皆さんにこの集いへの参加を呼びかけてください。

▽日時〓平成四年一月十五日
午後四時から

▽場所〓サンプラザ13階阿蘇・富士の間（中野区中野四一〇一・JR中野駅北口下車）

▽申し込み〓文京区湯島三二〇一九 日本私学育英共済事業団気付・首都圏阿仁川会 会長・工藤美代松（☎〇三—三八三六—一九一）または町役場商工観光課（☎七八—二二—一五）

▽会費〓男 七千円 女 六千円



合川町体育協会に文部大臣表彰

社会体育優良団体として



地域体協と種目体協の関係者で一層の活動にむけて祝賀会

合川町体育協会（工藤久男会長）が、文部大臣表彰を受け、十月二十五日、受賞祝賀会が開かれた。

町体育協会は、各種スポーツ大会の開催などを通じて、町民の健康づくりに貢献し、スポーツ意識を高めた活動が認められたものです。『合川町体育振興基金』の設置など、独自の組織活動を幅広く展開し、世代を超えて地域活動と密着した仲間づくりの呼びかけが讃えられています。

受賞祝賀会には、百六十名の関係者が参加して工藤会長が受賞のあいさつ。お祝いの言葉が続き、祝宴の中に、一層の協力が語り合われていました。

迅速に的確に 消防訓練

大火災を想定して



ホースをかかえて、全力で走る。本番そのままの訓練

十月二十八日、駅前地区で大規模火災を想定して、消防訓練が行われました。訓練は県消防協会大館北秋田支部の合同訓練として行われたもので、鷹巣阿仁部と当町から二百五十名の消防団員らが参加しました。

午後一時四十五分に「火災発生」の合図によって、消防車が出動。役場二階にケガ人が逃げ遅れたとの情報で、ハシゴ車が駆け付けて救助車で搬送。冷たい雨の中で、本番を思わせる緊迫した訓練が展開されました。

閉会行事の中で、灯油とプロパンガスの火災で、家庭消火器の訓練。一般の参加者が消防署員の指導を受けました。

満身の力をこめて「ワッショイ」

Vは(男子)下杉(女子)増沢(児童)北小



全員のチームワークに、応援の心も合わせて――

十一月十四日、町民体育館で第八回町綱引き大会が開かれました。今大会から小学生チームの部を新設。自分たちのチーム、お父さんや子どものチームへの応援合戦が一段と盛り上がりました。

二十三チームのリーグ戦は、各チームとも練習を積んで監督の作戦に意気はびつたり。「ソーレ、ソーレ」のかけ声に合わせて、満身の力をこめての引っぱり合いが続いていました。

優勝は一般男子が下杉Aで三連覇を達成。女子は増沢体協が初の栄冠。小学生対抗は「北っ子タッグボーイズ」(北小)が優勝しました。



「技を磨きがんばるぞ!」意欲満々の杉淵栄治さんにハルさんも応援

猿倉人形芝居復活!!

北小学校で初舞台

県の無形民俗文化財「猿倉人形芝居」の三座の一人で、一昨年に八十二歳で亡くなった増沢の吉田千代勝（本名・杉淵喜代三）さんの芸を、千代勝さんの二男・栄治さん（四二歳、農業）が受け継ぐことになり、妻のさき子さん、母親のハルさん（七七歳）とともに、十月二十七日、北小学校で開かれた祖父母交流会で熱演、「デビュー」を飾りました。

公民館より

白津

生涯学習ひろば

№. 90

合川町公民館

(合川町立農村環境改善センター)

合川町李岱字下豊田25番地

☎(0186)78-2114

部落の人たちから励まされて

今年の夏、自宅での同世代の仲間たちとの集まりで、余興で見よう見まねの人形遣いを披露。仲間から「合川の貴重な伝統芸能を絶やすな。私たちも応援するから本格的に取り組んでみないか」と熱心に勧められて決意したそうです。

この話を聞いた北小学校から「子どもたちにもぜひ見せたい」と、初舞台が実現しました。

僕たちの誇りですと児童の感想

この日会場となった北小学校体育館には、児童やお年寄りたち約三百人が集まりました。デビューの演目は千代勝さんの十八番といわれた「岩見重太郎大蛇退治」と「貫鉄和尚傘踊り」のふたつ。生前に吹き込まれた千代勝さんのしわがれ声のユーモラスなセ

リフ回しに合わせた栄治さんの人形遣いに、会場から大きな拍手が送られました。幕あきには「アンコール」の声が相次ぎました。

児童から「僕たちの町にこんな素晴らしい芸能があるのを誇りに思います。これからも活躍してください」と感謝の言葉と花束が送られました。また、補助役をつとめたハルさんは「五十点だな」と厳しい採点をしながらも、その顔にも何度となく笑みがこぼれていました。

栄治さんはやる気満々。これからの活躍が大いに期待されます。

【お詫び】

十一月十五日付の「平成四十年成人式のお知らせとご協力をお願い」の新聞チラシで、新しく成人式を迎える皆さんの名簿を載せましたが、その中で、新田目の金田輝男さん、斉藤貴志さん、新田正和さん、金田良子さん、斉藤真澄さんのお名前が抜けていましたのでお詫び申し上げます。

白津へーわたしならひょうてい

部落における社会体育の普及発展を期すことを目的として設立した我体協も、早いもので十年を経過した（昭和五十五年六月三日設立）。

年間活動としては、六月のさなぶり運動会からスタートし、町民体育祭、早朝ジョギング大会等を含め、各種大会への参加（町内外の競技）に対し最大限に努力し、今では「合川町では一番だ」と自負している（勝負は度外視）。

ユニークなのは、財源対策として、部落の協力を得、堤の土手の草刈や共有林の下刈り作業を実施し、部落（自治体）意識の高揚を図ってきていることである。今では定着し、体協の大きな支えとなっている。

また、川井体協の性格は、各種の大会に数多く、早く参加、挑戦する姿勢である。町民駅伝、相撲（現在、不開催

積極的に

がんばっている

川井・体育協会



町外でも活躍する川井体協の皆さん
（八竜町ドラゴンレースで）

で残念）、綱引大会等、その他の競技においても、すばらしい成果をあげている。本年も、十一月十日、八竜町で実施されたドラゴンレース（全県から四十二チームが参加）に参加し、三位の成績を収めたところである。この競技は八百*のドラゴン山車を六人で押す単純な競技であり、誰にでもやれる内容である。

今後の体協の課題は老若男女を問わず、自然を通じた体力づくりをすすめること。また、自分たちで企画・立案するイベントも実践し、部落活動を展開しなければいけないと話している。

今回のドラゴンレースで聞いた八竜町長の「金は出すが口は出さない。自分たちで考え行動し、これからの町を展望する町づくりを実践してほしい」という言葉がみんなの脳裏から離れない。

図書館 だより

◇期日を過ぎて、まだ返却されていない本がたくさんあります。

まだ読み終わっていない本について、一度返してから借りるようにしてください。

なお、借りる際には、必ず係の者に貸出カードを提出してください。

新着図書紹介

〈技術・工学〉

◇日本の食生活全集31
聞き書 鳥取の食事
農文協

〈芸術・美術〉

◇北秋・鹿角の美術二十人集
無明舎出版

◇ふるさとのこころ 銅像
日本報道記者会

〈文学〉

◇金賢姫全告白
いま、女として 上

破壊テロ工作の全貌と地下取調室での攻防

◇金賢姫全告白
いま、女として 下

戦慄すべき北朝鮮の実態
これが李恩恵の素顔だ
金賢姫 著
文藝春秋

◇妊娠カレンダー
小川 洋子 著
文藝春秋

芥川賞受賞
姉の妊娠を知った日に、妹の抱いたある「秘め事」
背負い水
萩野アノナ 著
文藝春秋

芥川賞受賞
笑いがはじける。才気が回転する。知性がえぐりだす。そして、優雅が残りの香のようになたよう。
〈児童〉
ニックとグリマング
F・K・ディング著
築摩書房

現実と非現実のはざまにある不思議で楽しい動物園
たくさん利用してくださいね。

老人医療費

個人負担が

変わります

平成四年一月一日から、老人医療費の一部負担金が次のとおり変わります。

改正後(改正前)
外来 一カ月 九百円(八百円)
入院 一日 六百円(四百円)

交通費が割引になります

療育手帳の書換えを

十二月一日から療育手帳所持者と介護者の鉄道運賃、航空運賃を割引する制度ができ

ました。

この制度を利用するためには療育手帳の書換えが必要です。この度の割引制度実施に伴う手帳の書き換えは、役場で受け付けします。

割引制度の内容、手続きなどについて、早めに役場福祉課(☎七八二二一三)におたずねください。

ご存知ですか

Sマーク

理容店、美容店、クリーニング店に掲げられている「Sマーク」は厚生大臣認可の標準営業約款に従って営業しているとの表示です。Sマーク

「愛の献血ありがとう」

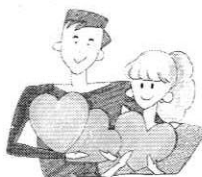
今年度は、今までに献血車が4回来町しました。

皆様からの尊い血液によって、一人でも多くの生命を救うために、これからもよろしく申し上げます。

今までの献血状況

200ml献血	320人
400ml献血	49人
成分献血	8人

現在、当町の目標数は650本で、達成率は67%になりました。



金史仁さんに金色有功章

第3回献血感謝のつどいが7月31日に県児童会館で開かれ、その席上で金沢・金史仁さん(大野台の里勤務)が献血回数50回以上に該当し、日本赤十字社より金色有功章と功労楯が贈られました。

また、30回以上で銀色有功章が贈られた人は、加藤陽資さん(鎌沢・上小阿仁営林署勤務)と奈良義明さん(美栄・大野台の里勤務)、鈴木博幸さん(鎌沢・町役場勤務)。

今後は平成4年1月10日(金)と3月10日(火)の2回献血車が来町することになっております。たくさんの皆様に献血していただき、一人でも多くの尊い生命を救うため、献血の輪がもっと広がりますように、皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

募集 オーストラリア 体験ホームステイ

二月十三日から二十日まで(財)秋田県国際交流協会の体験ホームステイ・オーストラリア研修が行われます。予定旅費は三十九万八千円(秋田発)。一月十日まで県庁内・同協会(☎〇一八八六四一・一八二)に申込みください。

降雪期になりました

除雪に協力を

今年の町内の除雪延長は町道百五十七路線八十九・三キロ、県道三路線二千九・四キロです。今年は除雪機械を更新(写真)して機動力をアップ。冬將軍を迎え撃つために、出動体制を整えています。

町民の皆さんに除雪の協力をお願いします。

▽路上駐車はやめましょう。

▽道路への雪すて、雪寄せはやめましょう。

▽道路にはみ出た高い枝も除雪車の障害になります。

道路にはみ出た庭木の枝は、みんなの迷惑です。

▽道路わきの倒木、見通しの障害になる薪積みも、積雪前に片付けをお願いします。



じどうかんつうしん

① こともといっし
よに、よんでく
ださい

新年にむけて

カレンダーづくり

十一月は、来年に向けての
カレンダー作りに挑戦しまし
た。内容は紙版画によるもの
で、来年の干支である「猿」や
テレビアニメの主人公をモデ
ルにしたものが多くできまし
た。

十一月は、来年に向けての
カレンダー作りに挑戦しまし
た。内容は紙版画によるもの
で、来年の干支である「猿」や
テレビアニメの主人公をモデ
ルにしたものが多くできまし
た。

十二月は前半、パズル作り、
後半は今年最後のしめくくり
として「おたのしみ会」を予定
しております。詳しくは、児
童館によりにて、お知らせし
ますので、お楽しみに。



セントラル合川で開かれた児童館作品
展には子供たちの見事な作品がいっぱい
でした

平成4年度新入園児を募集

- ▽定員 東保育園（90名）西保育園（60名）
南保育園（45名）北保育園（60名）
▽申込先 各保育園または役場福祉課（☎78—
2113）に所定の用紙で、平成4年1
月末日まで
▽資格 昭和63年4月2日以降に生まれた児
童で、家庭で保育ができない人。

成田東蔵さんに

厚生大臣表彰

十一月八日、東京都で開か
れた全国社会福祉大会で、成
田東蔵さん（李岱）に厚生大
臣表彰が贈られました。成田
さんは民生児童委員として永
年、尽力されており、誠意に
満ちた地道な活動が称讃され
たものです。

また、近藤ヌイさん（李岱）
には全国民生児童委員協会長
表彰が贈られています。

納税組合旅行記

三木田第三納税組合・三浦 富吉さん

三木田第三納税組合の三
浦富吉さんから、納税組合
の旅行記をお寄せいただき
ました。納税意識のつなが
りから生まれた、地域の和
気あいあいとした活動の様
子を、各納税組合活動への
参考のために紹介します。

十一月二日午後一時三十
分、参加予定者が全員、笑
顔で待つ中に、時間どおり
迎えるバスが来た。車中の
飲食物を積み込んで、三里
から農道を増沢に走り、二
ツ井バイパスは初めて走る
人もあり、両側の景色を楽
しんで行く。

切石の橋の手前から近道
に入ると、ミョウガ畑が有
り、台風19号の被害を受け
た林が有り、そして、海岸
線に出ると、私どもは海を
見ることが少ないので、「い
いなあ、いいなあ」と声が
出る。

目的地、岩崎村の旅館に
お尋ねなどは、役場財政課
にお寄せください。

守られていますか

あなたの人権

無料人権相談

いじめ、体罰、近隣問題など、他人からの迷惑や苦情・困り事はありませんか。

次のとおり無料相談を行います。

秘密は守られますので、お気軽にご相談ください。

▽とき 12月5日午前10時～午後3時
▽ところ 1セ
ントラル合川（役場向い）

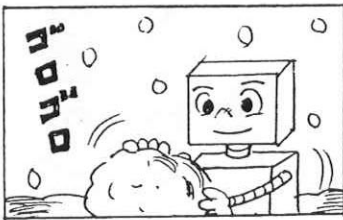
ふるさと自慢を

「新・秋田八景」に

応募ください

県では平成四年一月三十一日まで「新・秋田八景」を募

グリーン 8
ロボちゃん
まちかわみ子



集めています。次の八つのテーマ別に応募ください。

- ①自然 ②観光施設 ③祭り
- ④温泉 ⑤食 ⑥不思議 ⑦
- 体験 ⑧フリー（自由テーマ）

応募は一枚のハガキに一テーマとし、一テーマ三件以内。一人何テーマでも応募できます。

ハガキに住所、氏名、年齢、性別、職業、電話番号を記入。抽選で「あきたこまち」

「東京―秋田航空券」「大阪―秋田航空券」などがあたり

ます。

送り先は、秋田市山王四―

一― 県庁内「新秋田八景」事務局です。

車の登録は正確に

車の登録手続きは、所有者（使用者）にその義務があり

ます。

名義変更、廃車の手続をしないと、自動車税を納めなければならなかったり、事故か

犯罪のトラブルに巻き込まれることもあります。車検証の名前を、もう一度確かめましょ

う。

もよりの業者または秋田陸

運支局（☎〇一八八―六三一

五八一五）におたずねください。

記帳に基づく正しい申告を

商売などをしていての方が自分の所得を正確に計算するためには毎日の取引きをきちんと記帳し、取引記録等を保存しておくことが必要です。

こんな時 忘れていませんか――届出はすみやかに

青色申告をしていない方は、記帳や記録の保存などをしなければなりません。

記帳のしかたなどについてお分かりにならない点がありましたら、役場財政課または大館税務署にお尋ねください。

農業情報

テレホンサービス

農薬農業改良普及所

☎62-0029

▽12月2～8日 本年の稲作

の反省 ▽9～15日 本年の

野菜栽培の反省 ▽16～22日

本年の果樹・花き栽培の反省

▽23～29日 簿記記帳の勧め

こんなとき	必要なもの
20歳になったとき （厚生年金保険・共済組合加入者を除く）	印鑑
厚生年金保険・共済組合に加入したとき （扶養している配偶者がいる人はあわせて届け出を）	印鑑、本人・配偶者の年金手帳、公的年金加入月日のメモ、健康保険証、婚姻および扶養になった年月日のメモ
厚生年金保険・共済組合の加入をやめたとき （扶養している配偶者がいる人はあわせて届け出を）	印鑑、年金手帳、退職年月日のメモ
第3号被保険者の配偶者が会社などを変ったとき （厚生年金保険 共済組合）	印鑑、本人・配偶者の年金手帳、健康保険証、変更年月日のメモ
配偶者の扶養になったとき （結婚したときや収入が減ったとき）	印鑑、本人・配偶者の年金手帳、公的年金加入月日のメモ、健康保険証、婚姻および扶養になった年月日のメモ
配偶者の扶養からはずれたとき （離婚したときや収入が増えたとき）	印鑑、本人・配偶者の年金手帳、扶養からはずれた日のメモ
住所、氏名が変わったとき （住民票届け出と同時にできます）	印鑑、年金手帳

金田司さんに

農林水産大臣表彰

十月三十日、金田司さん（西根田）に農林水産大臣感謝状が伝達されました。

金田さんは、永年にわたって農畜産物生産調査に尽力されており、その功績が讃えられています。

技能組合

青年部に

知事表彰

十月二十九日に開かれた秋田県交通安全大会で、合川町建設技能組合青年部（部長・

桜田博さん）に県知事表彰が贈られました。

同青年部は、部員同士の安全の呼びかけとともに、看板の設置など地域活動のモデルとして表彰されたものです。

善意のお礼

佐藤タマさん（保夫さん川井）から、手ぬぐいで作った浴衣をご寄贈いただきました。

佐藤さん方は、台風19号災害で全壊。「その際の町民の皆さんの善意へのお礼の気持ち」と浴衣を届けられたものです。

慶弔だより

(10月届)

【お誕生おめでとうございます】

相馬絵里子ちゃん 克弥さんの長女
加代子（八幡岱）

白渡夢子ちゃん 静応さんの長女
かの子（八幡岱）

福田由美子ちゃん 幸一さんの長女
真紀子（鎌沢）

【ご結婚いつまでもお幸せに】

（蝦名精二さん（木戸石）
京谷静子さん（三木田）
（石上文明英さん（鎌沢）
（小林明美さん（上小阿仁）
（佐藤和芳さん（川井）
（工藤かおるさん（下杉）

【謹んでおくやみ申し上げます】

杉渕サタ増沢禮司 母
工藤ミエ上杉留造 母
佐々木徳治 駅前文子 夫
関喜英二上杉サタ 夫
松岡フミコ羽根山廣治 母
小笠原喜四郎 駅前シギ 夫
佐藤恵美子川井常和 妻
福岡誠二三里秀雄 夫
疋田キヌ上杉沢チ子 夫
高谷惣之助芹沢昭ヒチ 夫
松橋彦左衛門三里田サナ 夫
片岡重治雪田 夫
土濃塚吉治芹沢 夫

善意のご寄付

【香典返しにかえて】

(敬称略)

川井佐藤常男 故妻恵美子
芹沢高谷昇進 故父惣之助
上杉関昌之 故父喜英二
上杉正田秀雄 故母キヌ治
雪田片岡重久 故父重誠二
三里福岡和子 故夫左エ門
三里松橋昭子 故父吉治
芹沢土濃塚米二 故父

【台風見舞】

東京都東久留米市滝山6-1-13-406 市原 要

東京都台東区東上野3-39-5 工藤 トメ

川崎市川崎区池田2-6-2 松井 悦司

【広報郵送料として】

小田島長忠 川崎市宮前区宮崎1-3-5-213

重岡多恵子 埼玉県上尾市富士見2-18-19

町長日記から

初雪が降った。例年に比べて少し遅い。

別の話になるが、胡瓜について執拗に気が集中してちよっと調べてみた。子供時代、種とりの胡瓜は薬（わら）でしばって、これは取ってはならないとの印（しるし）がつけられてあった。子供達はこれを、いわば神聖視して絶対にもぎ取って食べなかった。子供の野球のバットくらいの太さに

成熟してから、翌年の種をとるわけである。

胡瓜は中央アジアからシルクロードを経て中国へと伝わるわけであるが、ラクダの背に荷をつけたキャラバン隊が、

黄砂が吹きつけて次のオアシスまで到着できなかった時、ラクダの眠っている傍に人は

びったりくっついて眠ったが、水が無いので胡瓜をかじって渴きをいやした。その胡瓜がわれわれ子供時代の種胡瓜のようなものであったようで、

元来中央アジアでも中国でも日本へ渡来してからも成熟して黄色になった大きなものを

食べたもので、いわゆる主食糧の捕食の役目を果たしていたようである。

江戸時代中期になって、青い胡瓜で、胡瓜もみ、酢のものなど、青いうちに食べるぜいたくが現代の食生活へと継承されたもののようである。

なるほど胡瓜（こうり）と記して「きうり」と読ませるのは、この食習慣の源語が継承されたもののようにある。

それにしても、胡瓜の足跡は、長く厳しい道のりであった。（義）

今月の 行事予定

平成3年10月末日

住民登録人口調べ

人口

男 4,259人(－9人)

女 4,636人(－2)

計 8,895人(11人)

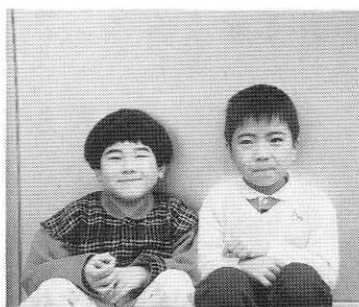
転入 15人 転出 16人

世帯数 2,323世帯(+2人)

チビッ子美術館



ちとせぶくろ



さかのうえ のりあきくん

ほそだ ともよさん

(にしほいくえん・さくらぐみ)

日	曜	行 事 名	場 所	厚生員訪問
1	日	介護講習会	保健センター	
2	月	部落健康相談	杉山田集会施設	センター
3	火	レクリエーション講座	李岱福祉研修施設	八幡岱、上杉
4	水	スポーツ教室	町民体育館	杉山田、三里
5	木	部落健康相談 デイケア	桃栄児童館 保健センター	芹沢、羽根山
6	金	介護教室 中国を学ぶ講座	新田目児童館 改善センター	道城、増沢
7	土	健康相談日、母子手帳交付日	保健センター	桃栄、摩当
8	日	大館能代空港決定祝賀行事 鷹巣阿仁部綱引大会	(鷹巣町他) 町民体育館	新田目、李岱
9	月	介護相談、部落健康相談 青年会OBが語る会	鎌沢改善センター 下杉児童館	
10	火	デイケア、第2回ふるさと便発送 生涯学習講座開講式	保健センター 改善センター	西根田、下杉
11	水	スポーツ教室 レクリエーション講座	町民体育館、西根 田改善センター	(木戸石)八幡 岱、松ヶ丘
12	木	介護相談、栄養講座 ふきのとう学級	増沢公民館 上杉児童館	駅前(チビッ子 ハウス)、川井
13	金	介護相談	川井公民館	鎌沢、(三木田) 摩当
14	土	役場閉庁 ソビエトを学ぶ講座開講式	改善センター	東根田、美栄
15	日			
16	月	部落健康相談	美栄、梅栄児童館	八幡岱、上杉
17	火	農村の健康を考えるシンポジウム	農村環境 改善センター	杉山田、三里
18	水	スポーツ教室、栄養講座	町民体育館、雪田 多目的集会施設	芹沢、羽根山
19	木	健康づくり交流会(西・北地区) デイケア	李岱福祉研修施設 保健センター	道城、増沢
20	金	ことぶきクラブ栄養講座 リハビリ学級交流会	下杉児童館 保健センター	桃栄、摩当
21	土			新田目、李岱
22	日			
23	月			西根田、下杉
24	火	おばあちゃんの栄養教室	保健センター	(木戸石)八幡 岱、松ヶ丘
25	水	育児相談(8～9カ月)、乳児健 診(3～4カ月)、スポーツ教室	保健センター 町民体育館	駅前(チビッ子 ハウス)、川井
26	木	子ども自然村開設、デイケア	保健センター	鎌沢、三木田
27	金	役場仕事納め		東根田、美栄
28	土	役場閉庁		センター
29	日			
30	月			
31	火			